

見えない障害 [特集]高次脳機能障害について。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第123号

発行2015.10.18
年4回発行社会福祉法人そよかぜ
羽村市栄町3-3-1
042-578-0855
fax.042-578-0466

そよかぜだより

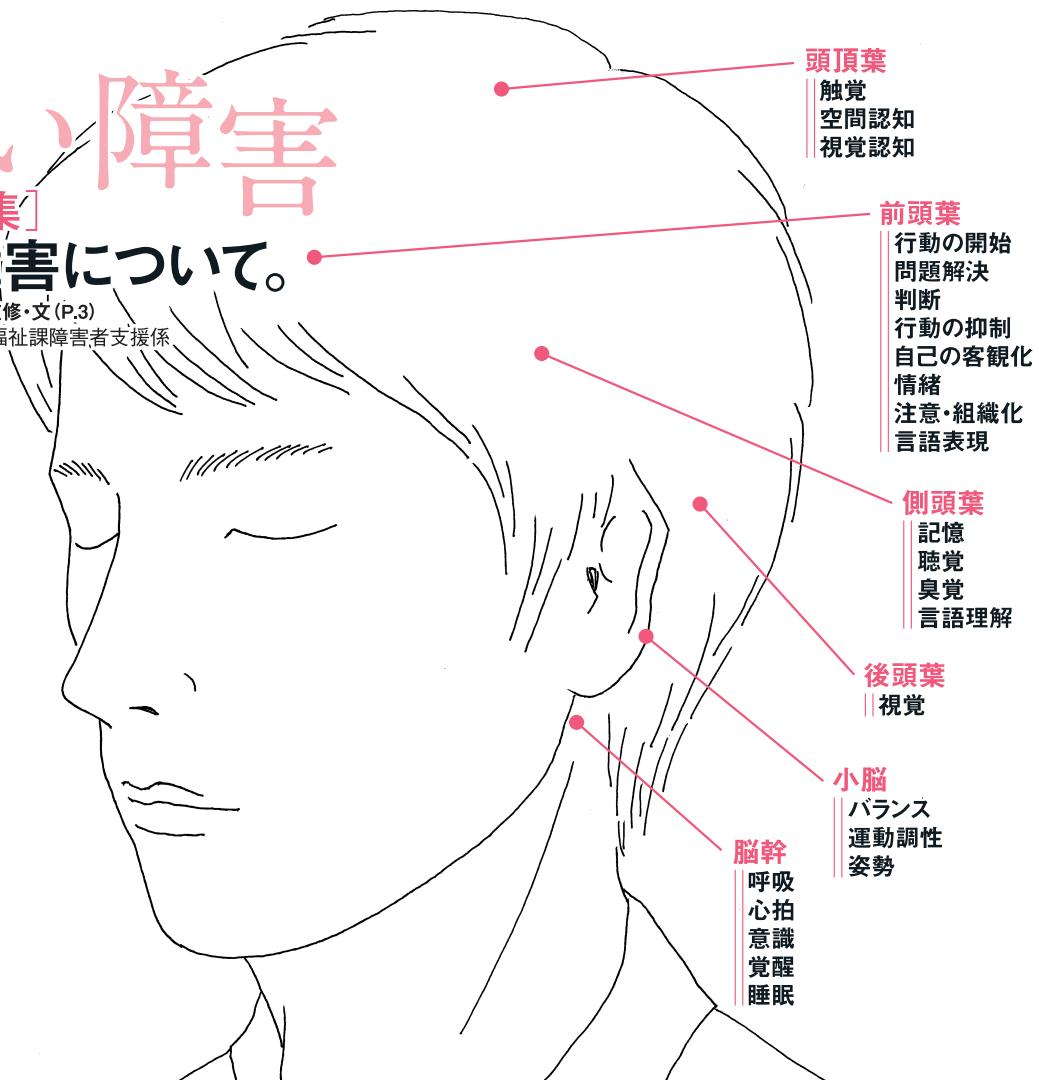
見えない障害

[特集]

高次脳機能障害について。

大高淳子=監修・文(P.3)
羽村市福祉健康部障害福祉課障害者支援係

左脳の役割
右側への注意機能
言語機能
右半身の運動と感覚
右脳の役割
全体への注意機能
自分の位置の認識
左半身の運動と感覚



高 次脳機能障害は外見上、健康な人と変わりのないことも多く、「見えない障害」ともいわれています。この障害に社会の目が向けられたのは比較的最近のことでもあります。

私たちは、特に意識しなくても肌で風を感じ、温度や風の匂い、音などを五感によって感じ取り季節などを知ることができます。また、普段の生活でも「今、取り組んでいる仕事をどうやって片づけていくか」、親しい友人との話題に花を咲かせ「今度の休みは、あの山に登ってみようか」と計画を立てるなど、私たちは様々な関わりを持ちながら生活しています。

これらの五感や思考などをつかさどっているのは脳であり、脳が担う役割は私たちの生活そのものでもあり

ます。脳の機能についても、人の心のようにまだまだ解き明かされない部分がたくさんあります。

人としての中核でもある脳が、何らかの原因(※)でダメージを受け、時として高次脳機能障害という後遺症が残る場合があります。見た目で障害があるとわかりにくことからご自身やご家族など多くハードルを抱えながら生活をしている人もたくさんいます。

高次脳機能障害は、わかりづらい言葉でもありますが、羽村市役所障害福祉課のご協力により解説等をいただき、この障害を抱えている方々への理解を広めていければと思います。

※主な原因として、脳卒中、脳外傷、脳炎、脳腫瘍、低酸素脳症などがあります。

主な症状

病気や事故などで脳の一部が傷を受けると、その損傷部位によって身体の麻痺や視聴覚障害の他に、思考、記憶、行為、言語など様々な症状が出ます。

とてもつかれやすくなる。
思考のスピードが遅くなる。

あくびが出て、今やっていることに集中できなくなります。一度にいくつものことを考えることが苦手になり、以前と同じようなテンポで物事を処理することは難しくなります。



コミュニケーションがうまくいかない。

左脳の言語野を損傷すると、話す、聞く、書く、読むなどの言語機能に障害がおこります。右脳の損傷では、相手の表情をうまく読み取れない、場の雰囲気に鈍感になるなどが生じます。

対応の基本

受傷後、日常生活や対人関係、仕事などがうまくいかず、自信を無くし混乱の中にいることを理解しましょう。これまでの生活や人生観などを尊重した関わりをもつようにしましょう。

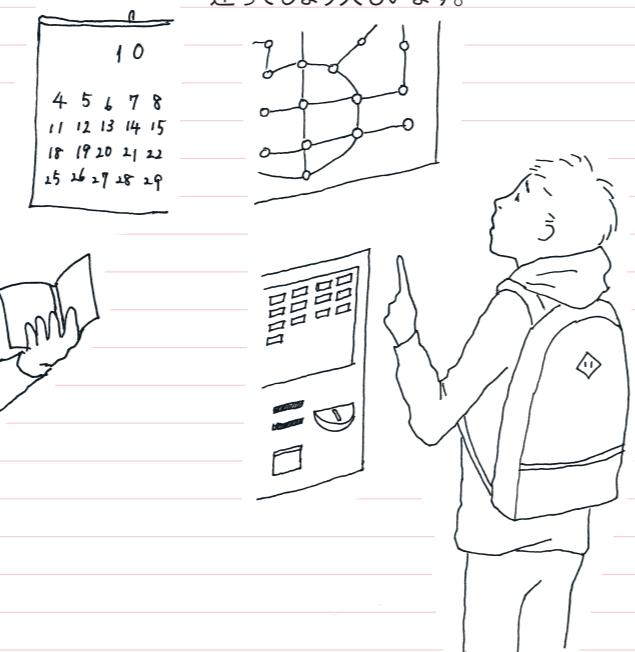
ゆっくりわかりやすく、具体的に。情報はメモに書いてわたし、写真や絵、図などを使って。何かを頼むときは一つづつ丁寧に。疲労やイライラする様子が見られたら、一休みして気分転換を。手順を簡単にする、日課をシンプルに、手がかりを増やすなどの環境調整を。

見えない障害

[特集] 高次脳機能障害について。

新しいことを覚えにくい。

脳損傷による記憶障害では、病気や事故にあう前の記憶は比較的よく保たれます。ついさっきのことを忘れてしまう。新しい手順を覚えることが難しい。同じ間違いを繰り返してしまう。



段取りよく物事を進められない。

優先順位を決められない、間違いを修正することができないなどが起こります。目標を定めたり、計画的に進めることが苦手になります。

感情のコントロールがしにくい。

些細なことで腹を立てたり、涙もろくなることがあります。支持されないと行動を起こせない、物事への意欲が低下してしまうこともあります。

変化と回復

何年もかけてゆるやかに変化し、回復の状況によっては、再就職にチャレンジすることもできます。人それぞれ違う障害の特徴を、周囲が理解しサポートしましょう。思いがけない病気や事故による障害のため、本人や家族が以前との違いを理解し、受容するのに時間がかかることもあります。

事例

プロフィール

Aさん、30代男性。会社員。家族は妻と小学生の子供1人。

原因～経過

○月△日、オートバイを運転中、飛び出してきた猫を避けようとし転倒、救急車で病院へ。

頭部外傷からくる「外傷性くも膜下出血」の診断で、緊急手術を受けました。手術から1週間後、ようやく意識が回復しました。幸い、体のまひなどはなく、頭の傷などが落ち着いたため、1ヶ月後には、自宅へと退院しました。

退院後の様子

しかし、退院直後から、妻は戸惑います。以前は穏やかだったAさんが、些細なことで怒鳴り声をあげたり、時には物を投げて怒ったりします。また、少し前に伝えたことを「聞いていない」と言ったり、趣味のパソコンも操作がわからない様子です。そして、徐々に職場復帰を始めますが、以前のように仕事をこなしていくことができませんでした。仕事ができないことを目の当たりにして、Aさんはショックを受けてしまい、職場へ行くことができなくなりました。

相談～受診

困ったAさんと妻は、入院していた病院に相談すると、「頭を打ったことの後遺症かもしれないから、専門的に診てもらいましょう」と、西多摩高次脳機能障害支援センターを通してB病院を紹介され、受診することになりました。

そこで、高次脳機能障害(記憶障害、遂行機能障害、行動と感情の障害)の診断を受けました。また、作業療法士から、それぞれの症状に対して、アドバイスを受けました。さらに、作業療法士がAさんの職場と連絡を取り合い、Aさんの症状と対応を伝え、仕事内容を見直していただいて、配置転換をすることになりました。

これから

妻は、大久野病院から紹介されたくはむら高次脳機能障害家族会へ参加するようになり、同じ立場の家族と交流することで、気持ちが助けられています。妻は、職場の人からの話を聞いて、今の職場で、ずっと働き続けることはできないかもしれませんと考えています。今後は、障害者手帳(精神保健福祉手帳)を取得し、障害者として仕事を探すことも視野に入れ、羽村市障害者就労支援センター エールに相談するつもりです。

※関係機関以外は、すべて架空の事例です。

羽村市近隣の支援機関

相談支援窓口

羽村市福祉健康部障害福祉課

羽村市緑ヶ丘5-2-1(羽村市役所内) ☎042-555-1111

羽村市地域活動支援センターあおば

羽村市栄町2-18-1(羽村市福祉センター内) ☎042-555-1210

地域活動支援センターハッピーウイング

福生市東町6-8 MEビル3階 ☎042-553-9888

医療機関

医療法人社団三秀会 羽村三慶病院

羽村市羽4207 ☎042-570-1130

専門機関

西多摩高次脳機能障害支援センター

西多摩郡日の出町大久野6416(大久野病院内)

☎042-597-1003(つながりにくい場合は☎042-597-0873)

講演会のご案内

羽村市では、毎年「障害の理解を深めるための講演会」を実施しています。今年は、高次脳機能障害がテーマです。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

日時：平成27年11月27日(金) 午後7時～9時
場所：羽村市コミュニティセンター 3Fホール
内容：「高次脳機能障害のある方を支える地域づくり」

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院
 リハビリテーション科 教授 渡邊 修氏

定員：150名(申込不要、先着順です)

平成27年度 上半期事業実施概況報告

堀内政樹 社会福祉法人そよかぜ施設長

本 年度も上半期(4月~9月)が過ぎました。事業再編(2事業廃止、1事業創設)後、初めての6ヶ月間でしたが、各事業共に概ね順調に推移しました。この事業再編に伴い、前年度末で終了したつくりの家宿泊訓練事業及びグループホームほほえみ館の旧利用者も、それぞれ新しい環境にも慣れ順調にやっているとの報告を受け安堵

しているところです。また、ここ数年来の課題である福祉作業所スマイル工房の施設移転事務については、現在、移転候補地の絞り込みや新施設での事業内容等、内外の関係者間で検討・調整中です。以下、各事業の上半期実施概況報告です。

そよかぜは本年度、次の6事業を行っています。



社会福祉事業

法人本部

福祉作業所ひばり園(写真1)
(就労移行支援・就労継続支援B型)

福祉作業所スマイル工房(写真2)
(就労継続支援B型)

指定特定相談支援事業所ゆい

公益事業

羽村市障害者就労支援センター エール
(写真3)

収益事業

資源回収(写真4)

法 人本部では、役員会等の開催(理事会5回、評議員会1回)、社会福祉法人(旧)会計基準に基づく平成26年度決算事務、新年度予算執行等に伴う新会計基準による会計処理開始、マイナンバー制度への対応、機関誌発行、その他、法人事業全体に係る管理運営等事務を行いました。福祉作業所ひばり園(就労移行支援・就労継続支援B型)は「東京都福祉サービス第三者評価」の受審年度であり、今期は、利用者・職員の聞き取り調査等が行われました。授産活動も特変なくほぼ順調に推移しました。福祉作業所スマイル工房は施設移転に向けた

事務を進めるとともに、パン・クッキーの製造販売を中心に授産活動を実施しました。本年1月からの新規事業である特定指定相談支援事業所ゆいは、立ち上げ時の大変さはあるものの、概ね順調に推移しています。羽村市就労支援センター エールは、利用登録者数が初めて100名を超えるニーズ対応も増大しています。最後に資源回収事業ですが、市民、地域企業・店舗など多くの皆様、事業支援ボランティアの皆様のご協力を得て、前年同期並みの実績を確保できました。



【連載】

そよかぜのご近所さん

ここ羽村市近隣地域には、たくさんの福祉施設があります。それぞれの施設では、様々な特色を活かした取り組みを行っています。意外と知らないことも多い他の施設の様子、見せてもらいました。

〈第3回〉

五乃神学園

(羽村市五ノ神)

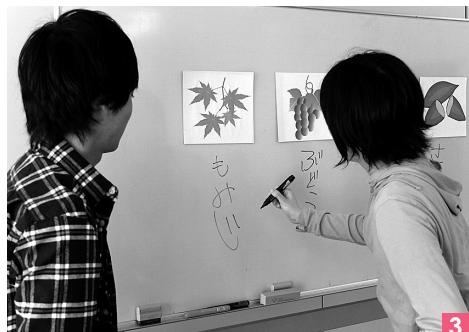
市内をグループで歩いている様子(写真1)を見かけたことがある読者の方、きっと多いのではないでしょうか。どうして毎日歩くのだろうと、私も思っていました。「歩くことは、健康増進はもちろんのこと、行動障害やパニックの低減、生活リズムの安定に効果があるんです」と、園長の芝崎さんが笑顔でおしえてくれました。五乃神学園は2年前の平成25年に開設された新しい施設で、利用者の多くは重度の自閉症者です。「施設入所支援」、「生活介護」、「短期入所」、「放課後等デイサービス」の4つの事業を展開しています。利用者の生活をより豊かに、本人、家族、地域との関わりを大切にし、地域に必要とされる開かれた施設を目指しています。施設内は裸足(靴下履き)で、自宅にいるような親近感がありました。



1



2



3



4



5

社会福祉法人口口学舎 五乃神学園

東京都羽村市五ノ神345

☎042-847-3455

Fax.042-847-3450



1 青空の下、みんなで手をつないで、市内を一時間ほど歩きます。利用者さんが飽きないよう、たくさんのルートがあるそうです。歩いた後は、情緒も安定し、作業への集中力も高くなるそうです。2 歩行から戻ったら、みんなでストレッチをして休憩。3 成人期の学習支援はユニークな活動の一つで、ボードを囲んで言葉や数の課題を取り組んでいます。4 市指定のゴミ袋のパッケージ作業をしています。一定時間、集中して丁寧に丁寧に。5 ダイナミックリズム(集団運動)という、集団適応力や模倣力など、社会性の基礎づくりを目指す活動です。6 五乃神学園外観。住宅地、学校、動物公園、市民プールなど、たくさんの人人が集まる地域にあります。

早期発見技術の進歩に期待

過去に人気を博した芸能人が癌により、まだまだ期待される中、帰らぬ人となってしまうニュースは心重い気持ちになりました。悪性新生物である癌は、日本の死亡原因の第一位です。静かに忍び寄る癌は、定期健診などを受けていても発見が遅れることがあります。癌による死亡を防ぐには、早期発見・早期治療が何より大切になります。そんな中、癌の早期発見の研究が積極的にすす

められています。その一つとして大腸がんの早期発見の研究があります。おなじみの「メタンチオール」が健常者に比べて大腸がんの患者は10倍に増えていることが確認されています。ほかにも、土壤に生息している「C.エレガヌス」という線虫が癌の早期発見で注目されています。この線虫は、たった1滴の尿から癌の有無を95.8%の高精度で識別できることがつきとめられています。ただし、

コラム「福祉の時をつかむ」

全ての癌を検出できる反面、癌の種類までは特定できないという課題があります。癌の種類が特定できるよう、更なる研究がすすめられているところもあります。

ある日突然、人生そのものを変えてしまう癌。早期発見の技術が進むことで癌を患った人ばかりではなく、家族や大切な人が悲しまなくなるよう早い実用化が期待されます。

そよかぜホームページ <http://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

去る10月9日、総勢84名で日帰り旅行に行ってきました。昨年度までは静岡、山梨、神奈川と遠出が続いていましたが、今年度はお台場方面での東京観光になりました。竹芝桟橋に着いて豪華客船のヴァンテアン号に乗り、船内のレストランでフランス料理食べるランチクルージングを楽しみました。高級感あふれる船内で、緊張した面持ちながら、ゆったりとランチを味わい、非日常を経験するいい機会になりました。その後はフジテレビをじっくり見学する班、アクアシティという大きなショッピングモールで買い物や人気

のパンケーキを楽しむ班など、班ごとに自由行動を行いました。移動のバスの中では毎年恒例のカラオケ大会も開催され、素敵な歌声が響き渡っていました。今年の日帰り旅行は終わったばかりですが、すでに来年の日帰り旅行を楽しみにしているという声が聞こえています。

リサイクルショップくれよん

秋の足音も聞こえ始める中、店内にもマフラーや手袋などの冬小物が並び、好評販売中です。食器類も引き続きセール中です。みなさまのご来店をお待ちしております。

福祉作業所スマイル工房

季節ごとの型抜きクッキーは、10月下旬までゴーストやかぼちゃの型を使ったハロウィンクッキーを販売しています。11月からはサンタさんやツリーの型を使ったクリスマスクッキーの販売を予定しています。また、11月8日(日)に〈生涯学習センターゆとろぎ〉コナモーレ(喫茶室)前に

て、ゆとろぎ子どもフェスティバル“りすの食卓(模擬店コーナー)”で、パンとクッキーの販売をします。皆様のお越しをお待ちしています。



障害者就労支援センター エール

「エール」は、羽村市より社会福祉法人そよかぜに委託された障害者就労支援事業です。羽村市在住の障害のある方を対象に、就職を希望している方や働いている方等からの相談を受け、支援を行っています。

利用時間：月曜日～金曜日、午前9時～午後5時。今年度の第一土曜日開所は、11/7、12/5、2/6、3/5です。

※ご相談には予約をお願いします。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

先日、薬局で薬をわたされた際、薬の名前と効能について説明されました。効能は頭に入りましたが、薬の名前はまったく憶えていませんでした。薬の名前や高次脳機能障害などの専門用語だけでは、なんのこっちゃ……となってしまいます。私たち専門職は専門用語を使うことが多いですが、わかったつもりでいないで、ちゃんと説明できなくてはなりませんし、専門用語云々よりも、受け手がちゃんと理解できるように伝えることが何より大事なのだと、専門用語を聞くたびに思う今日この頃です。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局

☎ 042-578-0855

福祉作業所ひばり園

☎ 042-555-5512

福祉作業所スマイル工房

☎ 042-578-2723

リサイクルショップくれよん

☎ 042-578-2575

羽村市障害者就労支援センター エール

☎ 042-570-1233

指定特定相談支援事業所ゆい

☎ 042-555-5512